

問題

アケメネス朝ペルシアによるオリエント世界の統治について、以下の用語すべてを、1 回のみ用いて 400 字以内で説明せよ。なお解答文中でこれらの用語には下線を施せ。また用語の使用順序は自由とする。(筑波大)

- ①新バビロニア ②強制移住政策 ③サトラップ ④バビロン捕囚 ⑤アッシリア ⑥ユダヤ教 ⑦インド＝ヨーロッパ語系 ⑧駅伝制

(^ω^) 「おいすー！ 内藤ホライゾンだおー！」
(;ω^) 「今回は適当に問題集から引っ張ってきた問題を解いてみたいと思うお！」
(;ω^) 「いちおう著作権的には大丈夫……ダヨ？www」
(^ω^) 「それじゃーみんな、教科書片手に頑張るおー！」
~~~~~  
( ^ω^ ) 「まずは何が問われているかを見てみるおー。ふむふむ………」  
( ;ω^ ) 「……うーん、とりあえずアケメネス朝の統治について答えればいいみたいだお」  
( ^ω^ ) 「そういえばアケメネス朝の統治は………」  
( \*ω^ ) 「①反乱を起こすとズチ殺されるけど、②何もしないなら意外と優しい感じだったお！」  
( ^ω^ ) 「ははっ、反乱を起こした僕が言うんだから間違いないねえお………」  
~~~~~  
(うω) 「まあいいお………そうと決まれば次は用語の使い方を考えるおっ」
~~~~~  
①新バビロニア ②強制移住政策 ④バビロン捕囚 ⑤アッシリア ⑥ユダヤ教  
( ;ω^ ) 「ちょ、アケメネス朝が関係ない用語ばっかだお！www」  
( ;ω^ ) 「たぶん出題者は前の時代と比較して欲しいんだお！ そうに違いないお！」  
( ;ω^ ) 「確かアッシリアの失敗がアケメネス朝の統治に反映されていたはずだから………」

### ③サトラップ ⑧駅伝制

( ^ω^ ) 「ふーむ、こらへんは国内制度の関係で使えそうだお。王の目とか覚えているかお？」  
( ;ω^ ) 「……あ！ そう言えば駅伝制について解説してなかったお。ここで説明ときますね」  
( ^ω^ ) 「駅伝制ってのは、街道沿いに乗換用の馬を用意しておく制度のことです」  
( ^ω^ ) 「そうすれば馬を交換しまくって、急ぎの用事でもすぐに伝えることができるんですね」  
( \*ω^ ) 「ローマや中国、モンゴルでも整備されてた、由緒正しき制度でもあるんだおー」

### ⑦インド＝ヨーロッパ語系

( ;ω^ ) 「これはよくわからんお…… あんまり統治には関係ない気がするお………」  
( ;ω^ ) 「仕方がないからとりあえず適当にぶち込んでおくか………」  
~~~~~  
(^ω^) 「そんな訳でこうなったおー！」
(;ω^) 「昔取った杵柄ですが、けっこういい感じにできたんじゃないかな」

>>1 の解答

アケメネス朝ペルシアは、前 550 年に興ったインド＝ヨーロッパ語系ペルシア人の国で、エジプトやメソポタミアなどの多民族を支配下に置く国家であった。そのため国内には州知事サトラップを配し、地方分権的な統治を行っていたが、王の目・王の耳等の監視機関や、軍道である王の道、そして駅伝制などの情報交通網を整備することで、反乱に対しては迅速に対処できる中央集権的な制度を構築した。こうした制度は、強制移住政策を行ったことで異民族の反乱を誘発し、短命に終わったアッシリアや新バビロニアの反省を生かしたものであった。特に後者においては、ユダヤ人に対して行われたバビロン捕囚が有名であり、その結果ユダヤ教が成立することになった。ゆえにアケメネス朝は、ユダヤ人を解放するなど、従順な異教徒・異民族には寛容な態度で臨んだが、イオニア植民市の反乱を招いたギリシア人などに対しては、強硬な態度を崩すことはなかったのである。(399 字)

(^ω^) 「アケメネス朝の統治体制は、アッシリアの反省を踏まえていたのだ！」
(^ω^) 「こらへんを指摘できるかが、個人的には鍵になるんじゃないかと思います」
(*ω^) 「それじゃー次回もお楽しみに！ 次はギリシアとローマの政治制度だお！！」